

2014年1月号
Vol. 20

発行／公益財団法人千葉県文化振興財団 文化振興グループ
〒260-8661 千葉市中央区市場町11番2号
TEL 043-222-0077 FAX 043-221-6438
E-Mail info@cbs.or.jp

HPからも
アクセス
できます!!
facebook
(公財)千葉県文化振興財団 公式ページ
<http://www.cbs.or.jp/>



平成25年より千葉県内の幼稚園を訪問し、音楽に触れて遊ぶ演奏会、「オーケストラとあそぼう!」を始めました。これは、公益財団法人ちばぎんみらい財団と一緒にしています。去年は、梅乃園幼稚園(千葉市)、八木ヶ谷幼稚園(船橋市)、船形こども園(館山市)、有秋幼稚園(市原市)、旭幼稚園(旭市)の計5ヶ所の幼稚園を訪問しました。これをきっかけに1人でも多くの子どもたちが、音楽を好きになってくれたらうれしいです。

多くの子どもたちにとって、初めての演奏会となります。そのため、演奏を聞く時のマナーや、拍手のタイミングを教えるところから始めます。背筋を正し、しっかりと聞く体制が整ったところで演奏を始めます。



前半は、「森にあるお城に住むお姫さまが、迷子になってしまい困っているところを、動物たちが、お城探しを手伝ってあげる」というストーリー仕立ての演奏会です。運動会で耳にするクラシックの曲や、ディズニーの曲を演奏します。演奏の合間に入るお芝居にも釘付けでした。



後半は、歌ったり、踊ったり、声楽家や指揮者の体験をしたり…子どもたちが体を使って音楽で遊ぶプログラムです。最後には、黒い布の裏に隠れて楽器を鳴らし、「音」で楽器を当てるクイズを行います。このクイズが、どの幼稚園でも、一番の盛り上がりを見せました。短時間の間に、楽器の音色を覚えてしまう子どもたちの姿に、とても驚きました。

終演した後は、お姫さまと動物たちが子どもたちをお見送りします。たくさん子どもたちが「ありがとうございました」と言ってくれ、しっかりと「感謝の心」を言葉にして伝えてくれました。出演者・スタッフ一同、とてもあたたかい気持ちになりました。



小さな子どもから入れる演奏会は少ないため、幼稚園を訪問して、すてきな演奏、楽しい音楽遊びをお届けできるよう、これからも頑張っていきたいと思います。

今年は、県内10ヶ所の幼稚園での開催を予定しています。さて、次はどんな子どもたちが待っているのでしょうか? 「オーケストラとあそぼう!」の今後に、ご期待ください♪



3月30日（日）に開催いたします定期演奏会に向けて、団員たちは一生懸命、練習に励んでいます。この演奏会で指揮を務めてくださる飯森範親さんと、ブルッフ/ヴァイオリン協奏曲第1番ト短調でヴァイオリン・ソロを演奏してくださる成田達輝さんより、コメントをいただきましたのでご紹介いたします。

♪飯森範親さんからのコメント♪

再び千葉県少年少女オーケストラを指揮しますことを、とても嬉しく思っています。佐治薫子音楽監督の下、練習に励んでいるハイレベルなオーケストラです。

今回は大曲と言われるマーラーの交響曲第1番《巨人》に挑戦します。若手実力派の成田達輝さんをソリストに迎えたブルッフもどうぞお楽しみに！



♪成田達輝さんからのコメント♪

飯森範親さんとの久しぶりの共演でとても楽しみにしています。



千葉県内での演奏は今回が初めてですが、歳が近い皆さんと一緒に、エネルギッシュな音楽が出来たらとても嬉しいです。

Let's Sing a Song

千葉県文化会館

合唱の楽しさやすばらしさを、たくさん子どもたちに伝えようと、ジュニアコーラスアカデミーを立ち上げました。指導は、子どもたちに大人気の作曲家、若松歆（わかまつかん）さんをはじめ、県内外で活躍する少年少女合唱団の指導をしているスペシャリストに務めていただいています。アカデミー生は地域・年齢など様々ですが、音楽を通して交流がどんどん深まってきています。

このアカデミーをきっかけに、合唱を好きになってくれる子どもたちが増えることを願っています。



郷土の魅力を再発見～文化と史跡めぐり～

千葉県東総文化会館

昨年の秋に、郷土の歴史に触れ、新たな魅力を発見する「文化と史跡めぐり」を開催しました。旭市文化財審議委員の松井安俊さんにコーディネーターを務めていただき、“銚子ジオパーク”や“飯岡刑部岬展望館”などをバスでめぐりました。



銚子ジオパークでは千葉科学大学の安藤生大准教授を講師に迎え、銚子ジオパークの基礎知識の説明のあと、各地をめぐりました。

参加者のみなさんから大好評をいただい、「わかりやすい丁寧な説明で、地元でありながら知らないこともよくわかりました。」「ゆったりしたスケジュールでとても良い企画、感謝しております。」とコメントもいただきました。また、「来年も参加したい」という声を、多くの方からいただくことができ、とてもうれしいです。

平成26年度の開催も予定しております。千葉県の魅力と一緒に再発見してみませんか？たくさんの方のお越しをお待ちしております。

編集後記

おかげさまで本紙、財団 News も20号目の発行となりました。みなさま、ご愛読、ありがとうございます。これからも魅力あふれる記事をみなさまにお届けできるよう、精一杯努めてまいります。